# <日本史探究㊿> 江戸時代② 江戸初期の外交・禁教・寺社統制 教科書：P.158~P.163

## 1 江戸時代初期の外交

①(1.1600)年、(2.オランダ)船(3.リーフデ　)号が豊後に漂着した。徳川<4.家康>は、3の航海士(5.オランダ)人の<6.ヤン=ヨーステン>[6'.耶揚子]と水先案内人であった(7.イギリス)人の<8.ウィリアム=アダムズ>[8'.三浦按針]を外交・貿易の顧問とした。

ゴロ 1600――(リーフデ号)―(ヤン=ヨーステン)―(ウィリアムズ)
1600円のフデ、ヤン!よして!ムズムズする

②その後、オランダは1609年に、イギリスは1613年に幕府から貿易の許可を受け、肥前の(9.平戸)に商館を開いた。両国はキリスト教の面では(10.プロテスタント)の国で、両国人は(11.紅毛人)と呼ばれた。旧教国とは違って、布教を目指しておらず、貿易が中心で、(12.東インド会社)を設立してアジアへの進出をはかっていた。

③一方、スペインとの通交は、1596年の(13.サン=フェリペ号)事件以来途絶えていたが、1609年、たまたまルソン(フィリピン)の前総督の<14.ドン=ロドリゴ>が上総に漂着し、翌1610年に(4)が船を与えて彼らをスペイン領メキシコ[15.ノビスパン]に送ったのを機に復活した。この時同行した京都の商人<16.田中勝介>らは、初めて太平洋横断に成功した日本人である。

<第48講 図の③>

④また、1613年、仙台藩主<17.伊達政宗>は家臣の<18.支倉常長>をスペインに派遣した。この(19.慶長遣欧使節)も(4)もメキシコとの直接貿易を画策したが、失敗した。

⑤中国産の(20.生糸)[白糸]を長崎に運んで日本の銀と交換し巨利を得ていた(21.ポルトガル)に対しては、(22.1604)年、(23.京都)・(24.堺)・(25.長崎)の商人に(26.糸割符仲間)をつくらせ、この26が生糸価格を決定して一括購入する(27.糸割符制度)をもうけた。

ゴロ 1――60ケ(組)
1人の老師、ワープする

⑥26はのちに(28.江戸)・(29.大坂)の商人が加わり、(30.五カ所商人)と呼ばれた。

⑦幕府は明との国交回復を試みるが、うまくいかず、(31.海禁)政策を明がとっていたこともあり、第三国(東南アジア方面)で貿易をする(32.出会貿易)を行っていた。

⑧そのためフィリピンのマニラやタイのアユタヤなどに渡航する商人が多かった。幕府は彼らに海外渡航を許可する(33.朱印状)を与えて貿易をする(34.朱印船貿易)を拡張した。34自体は<35.秀吉>の時代からあったが、この江戸初期に全盛を迎えた。

⑨33を与えられて貿易を行った大名には、島津家久・有馬晴信らがおり、商人には長崎の<36.末次平蔵>、摂津の<37.末吉孫左衛門>、京都の<38.角倉了以>・<39.茶屋四郎次郎>らがいた。

⑩朱印船貿易が盛んになると、海外に移住する日本人も増え、東南アジアの各地に（40.日本町）がつくられた。特に、現在の（41.タイ）であるシャムの（42.アユタヤ）にあった40では〈43.山田長政（やまだながまさ）〉が活躍し、40朝の要職につくほどであった。

## 〈入試問題でアウトプット〉

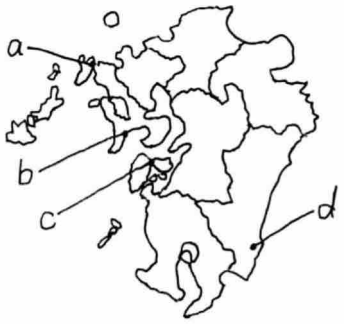
次の文章を読み、下線部①～⑧について、それぞれ後の設問を読み、最も適当な答えを一つずつ選ぼう・書こう。（京産大）

①1600年、オランダ船リーフデ号が九州地方に漂着した際、②徳川家康は、リーフデ号の航海士と水先案内人を江戸に招き、外交・貿易の顧問とした。その後、来航したオランダ・イギリス船は貿易を許可され、③平戸に商館を開いた。

①下線部について、オランダ船リーフデ号が漂着したのはどこ？
〈薩摩国・日向国・豊後国・豊前国〉（豊後国）

②下線部について、オランダ人航海士の名前を答えよう。
（ヤン＝ヨーステン）

③下線部について、平戸の位置を答えよう。［a］




家康は、④スペインとの貿易振興も重視し、使節を派遣して通商を求めた。1613年、⑤支倉常長がスペインに派遣され、メキシコとの間に貿易関係を結ぼうとしたが、いずれも成功しなかった。

④下線部に関連して、次の説明文の正誤を判定しよう。

(1)この使節として、京都の豪商、茶屋四郎次郎が派遣された。［誤］

(2)この使節はメキシコに派遣された。［正］

(3)スペインとの通交は、1596年のサン＝フェリペ号事件以来、絶えていた。［正］

⑤下線部について、この人物が仕えた大名は？（伊達政宗）

幕府は、海外に渡航する日本船に⑥朱印状を与えて許可制とし、貿易を統制した。⑦ポルトガル商人は、中国産品を日本に運び、巨利を得ていたが、幕府が⑧1604年に統制策を実施したので、ポルトガル商人は大きな打撃を受けた。

⑥摂津国平野を活動拠点とした朱印船貿易家は？
（末吉孫左衛門）

⑦ポルトガル商人が運んでいた中国産品は何か？（生糸）

⑧この際の統制策として正しいものはどれか？［B］

A. ポルトガル船の長崎への寄港を制限した。

B. ポルトガル船よりもたらされる中国産品［⑦の答え］を日本の特定商人に一括購入させた。

C. この統制策のことを出会貿易という。

## 2 禁教と寺社統制

①家康は初期には貿易を奨励し、キリスト教を黙認していたが、その布教が(1.スペイン・ポルトガルの侵略)をまねく恐れと信徒が団結して逆らうことも考えられたため、(2.1612)年、直轄領に(3.禁教令)を出し、(4.翌)年これを全国におよぼして信者に改宗を強制した。

ゴロ 1612(禁教) ヒロインにキンチョーする

②1614年には、<5.高山右近>ら300人余りをマニラとマカオに追放し、1622年には長崎で(6.元和大殉教)と呼ばれる宣教師・信者らの処刑が行われ、55名が殉教した。

③多くの信者は改宗したが、一部の信者は迫害に屈せず、ひそかに信仰を維持する(7.潜伏[隠れ]キリシタン)もいた。そこで、(8.1629)年頃からキリシタン摘発のために、キリスト像やマリア像をを踏ませる(9.絵踏)を行った。

ゴロ 1629(踏絵) 疲労に苦しむフミエさん

※実際に踏ませる聖画像のことを(10.踏絵)という。

④(11.1637)年には、(12.島原の乱)が起こった。この乱は、飢饉の中で島原領主松倉氏と天草領主寺沢氏とが領民に苛酷な年貢を課し、キリスト教徒を弾圧したことに抵抗した土豪[村の武士]や百姓の一揆である。

ゴロ 1637 ヒーローみんなで島原へ!

⑤島原と天草はもともとキリシタン大名の<13.有馬晴信>と<14.小西行長>の領地で、一揆勢の中には13・14の旧家臣やキリシタンが多かった。

⑥<15.天草四郎時貞>を総大将にして(16.原城)跡に立てこもった。それに対して老中<17.松平信綱>は16を約12万の軍勢で攻撃し、翌年ようやくこの一揆を鎮圧した。

⑦幕府はこの乱の後、キリシタンを根絶するため、9を強化し、またキリスト教徒以外にも(18.日蓮)宗(19.不受不施)派(幕府く宗教)も弾圧するために、すべての人々をいずれかの仏教宗派に属させて檀那寺の檀家とする(20.寺請制度)を設けた。

⑧そして、(21.宗門改め)[禁教目的の信仰調査]を行って、家ごとの宗派と檀那寺を(22.宗門改帳)に登録させた。22は毎年作成されるため、(23.戸籍)の役割を果たした。(←住民の転入・転出、生死がわかるので) ※22は(24.宗旨人別改帳)ともいう

⑨また、檀那寺に(25.寺請証文)を発行させて、個人の身元を保証させた。しかし、仏教以外の宗教がすべて禁圧されたわけではなく、神道・修験道・陰陽道なども幕府によって容認されていた。

⑩幕府は、(26.寺社奉行)を通じて全国の寺院を管理した。1601年から宗派ごとに(27.寺院法度)を出し、宗派の中心寺院の(28.本山)が一般寺院である(29.末寺)を統制する(30.本末制度)を整備した。

⑪30は中世から続く仏教諸宗派を対象にしたほか、新たに17c半ばに、明僧の<31.隠元隆琦>が伝えた(32.黄檗宗)も許容した。32の28として京都の(33.万福寺)がある。

⑫そして、1665年には仏教諸宗派すべてを共通して寺院や僧侶を統制するために（34.諸宗寺院法度）を出した。さらに同年、神社・神職に対しても**（35.諸社禰宜神主法度）**を制定し、公家の（36.吉田）家を本所として統制させた。 ※陰陽道→土御門家

## 入試問題でアウトプット

（問1）寺請制度に関して述べた文について、正しい組み合わせはどれか？（聖心女子大）

Ⅰ. 寺請制度は、キリスト教や一向宗の禁制を目的として設けられた。

Ⅱ. 寺請制度のもとで、檀家の農民の年貢は寺院が請け負った。

①Ⅰ・Ⅱともに正 ②Ⅰが正、Ⅱが誤 ③Ⅰが誤、Ⅱが正
④Ⅰ・Ⅱともに誤 ［ ④ ］

（問2）次の文の正誤を判定しよう。（関東学院大改）

(1)キリスト教の信者が多い地域を中心に、島原の乱後初めて絵踏を実施した。 ［ 誤 ］

(2)寺院が檀家であることを証明する寺請制度が設けられ、宗門改めが実施された。 ［ 正 ］

（問3）次の文の正誤を判定しよう。（関西学院大）

江戸時代、公家の吉田家は諸社禰宜神主法度に基づき諸国の神社・神職の統制を行った。 ［正 ］

## 3 朝鮮と中国

①朝鮮とは（1.対馬）藩主の（2.宗）氏を通して国交回復をはかり、（3.1609）年に朝鮮と（4.宗氏）との間で**（5.己酉約条）**が結ばれた。5では、1年に（6.20）隻の対馬からの歳遣船が、（7.釜山）の（8.倭館）で交易することが定められた。

ヒーローお灸をすえられる

→(1)藩が朝鮮貿易を独占する！

②朝鮮からは1607年以降、計12回の使節が来日し、4回目からは**（9.朝鮮通信使）**と呼ばれ、その名目は新将軍就任の慶賀が過半だった。

③家康は明との国交回復もはかったが、朝鮮出兵で交戦したことや海禁政策を明がとっていたこともあって拒否された。しかし、明船が（10.平戸）や（11.長崎）に来航したり、東南アジアの各地で、日本からの朱印船と明船が取り引きする（12.出会貿易）が行われた(図)。

④その後、1636年に成立した満州民族の王朝である**（13.清）**が、1644年に滅亡した明に代わって中国を統一した。ほとんど正式な国交は開かれなかったが、貿易は行っていた。

## 入試問題でアウトプット

（問）次の文の正誤を判定しよう。（関西学院大）

徳川家康は、秀吉時代に悪化した東アジア諸国との関係回復につとめた。明との国交は実現しなかったが、朝鮮からは使節が来日するようになった。 ［正 ］